

# Campus Life

## F 国際交流活動

国際交流活動 ……75

海外渡航の際の届出について ……83

## ● 国際交流活動

### 1 海外留学

#### 1. 留学制度

海外留学を希望する学生は、次のような制度を活用することができます。

#### ○交換留学プログラム（授業料を不徴収とする大学間学生交流協定大学への短期留学制度）

奈良女子大学と海外の大学が締結している協定に基づいて、奈良女子大学に正規生として在学している学生が、海外の協定締結大学へ交換留学生として派遣される制度です。留学期間は、一年以内の一学期または複数学期です。派遣できる学生は各大学毎年1～2名であり学内で選考が行われます。

留学先大学で取得した単位は、本学が認定すれば本学で取得した単位として互換できます。また、交換留学の期間は本学における在学期間として認められるため、留年せず留学ができる制度として計画されています。（留学先の学期の開始時期等によっては、一年の留年をせざるを得ない場合があります）

留学先大学への授業料は支払う必要はありませんが、本学には授業料を支払う必要があります。航空運賃、生活費、保険料などは個人負担です。語学研修ではなく、現地の学生と共に通常のカリキュラムを履修するため、留学開始時点で高い語学力が求められます。（3. 海外留学における語学能力参照）

募集時期等は下表を参照してください。応募資格、必要書類は年度により多少変わりますので、国際課留学生係に早めに確認してください。詳細については本学ホームページにも掲載しています。

交換留学プログラム（参考・予定）	
前年5月	海外留学説明会
前年7月～10月	募集期間
前年10月～11月	書類選考および面接選考
	各協定校への出願
6月	出発前オリエンテーション
	各協定校へ留学開始



#### <授業料等不徴収による大学間学生交流協定大学>

中国	: 西安交通大学、西安工程大学、蘇州大学、大連理工大学、南京大学、武漢大学、香港理工大学
台湾	: 東海大学、台湾大学文學院 <sup>※1</sup> 、東呉大学
韓国	: 梨花女子大学、ソウル大学生生活科学部 <sup>※3</sup> 、忠南大学建築学部 <sup>※3</sup> 、釜山大学
フィリピン	: フィリピン大学ディリマン校
ベトナム	: トゥイロイ大学、ハノイ大学、ハノイ教育大学、ハノイ貿易大学、ベトナム国家大学ハノイ外国語大学、ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学、ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学、ハノイ理工大学応用数学情報学部 <sup>※2</sup> 、ベトナム高等数学研究所 <sup>※2</sup>
タイ	: チェンマイ大学、タマサート大学理工学部 <sup>※2</sup>
インドネシア	: インドネシア大学、ガジャマダ大学、アイルランガ大学理工学部 <sup>※2</sup> 、アイルランガ大学人文学部 <sup>※4</sup> 、ジョグジャカルタ州立大学 <sup>※2</sup>
バングラデシュ	: ダッカ大学、チッタゴン大学、バングラデシュ農科大学
イギリス	: レスター大学
ポーランド	: キャロル・マルチンコウスキー・ポズナン医科学大学
オーストリア	: グラーツ大学
ベルギー	: ルーヴェン大学
ロシア	: ロシア人民友好大学
フランス	: パリ大学
ドイツ	: トリアー大学 FB II <sup>※1</sup>
アメリカ	: リーハイ大学
ニュージーランド	: リンカーン大学

- ※1 本学文学部及び研究科との部局間学生交流
- ※2 本学理学部及び研究科との部局間学生交流
- ※3 本学生活環境学部及び研究科との部局間学生交流
- ※4 本学文学部、生活環境学部並びに研究科との部局間学生交流

## ○短期海外研修

国際戦略センターが窓口となり、毎年、夏季・春季の長期休暇中に、海外での短期研修プログラムを実施しています。下記以外にも様々なプログラムがあります。詳細は国際戦略センターのホームページ及び留学したい学生向け情報サイト「ならじよ」から留学!!」にてお知らせします。

### 1) グローバル女性人材養成プログラム (中国)

研修期間：8月中旬～9月中旬の4週間程度

留学先：南京大学 海外教育学院 (中国)

募集人数：10名程度

参加要件：大学で少なくとも一年の中国語学習を修了した学生、もしくは同等の中国語学習履歴を持つ学生

募集時期：4月に説明会を実施、募集は4月～5月に行います。

単位取得：可。「キャリア教育科目」として開講（卒業要件外）



### 2) グローバル女性人材養成プログラム (フィリピン)

研修期間：8月中旬から9月上旬の3週間

留学先：QQEnglish IT パーク校 (フィリピン・セブ島)

募集人数：18名

募集時期：4月に説明会を実施、募集は4～5月に行います。

単位取得：可。「キャリア教育科目」として開講（卒業要件外）



### 3) グローバル女性人材養成プログラム (ニュージーランド)

研修期間：2月下旬～3月下旬の4週間程度

留学先：リンカーン大学 English Language Centre (ニュージーランド)

募集人数：20名程度

参加要件：TOEIC (I P 可) 530点以上

募集時期：10月に説明会を実施、募集は11月に行います。

単位取得：可。「キャリア教育科目」として開講（卒業要件外）



### 4) グローバル女性人材養成プログラム (タイ)

研修期間：2月下旬～3月上旬の2週間程度

留学先：チェンマイ大学 Language Institute (タイ)

募集人数：10名程度

参加要件：TOEIC (I P 可) 530点以上

募集時期：10月に説明会を実施、募集は11月に行います。

単位取得：可。「キャリア教育科目」として開講（卒業要件外）



- 5) グローバル女性人材養成プログラム (ヨーロッパ)  
研修期間：2月下旬～3月中旬の前・後半各1週間程度  
留学先：[前半] ユネスコ、OECD、EU等の国際機関、パリ・シテ大学 (フランス、ベルギー)  
[後半] ヴェネツィア大学、ローマ日本文化会館 (国際交流基金) 等 (イタリア)

募集人数：前半・後半合わせて15名程度

参加要件：海外でコミュニケーションが取れる英語力

募集時期：10月に説明会を実施、募集は11月に行います。

単位取得：可。「キャリア教育科目」として開講 (卒業要件外)



奈良女子大学が提供するプログラムの中に希望する留学先がない場合や、奈良女子大学を卒業後に大学院留学をする場合、留学先の選択や手続きは全て個人で行います。これらの情報収集や手続きについては、在日各国留学情報提供機関などでも指導してもらえますが、確実な情報を得るためには留学希望大学へ直接問い合わせることをお勧めします。

### ○海外インターンシップ

グローバル女性人材プログラム (フィリピン) の研修先であるセブ島の QQEnglish で10月から3月の半年間インターンシップを行います。参加者は、六年一貫プログラム学生で、一定の要件を満たす場合を除き、休学することになります。プログラム費用は無料。週に20時間の英語レッスンを受けることができます。詳細は、前期に行う説明会にてお知らせします。

## 2. 海外留学奨学金

海外留学にあたり、次のような奨学金制度を活用することができます。

### ○奈良女子大学なでしこ基金派遣留学奨学金

奈良女子大学独自の給付型の奨学金で、交換留学プログラムにより海外の大学へ留学を希望する者に対して奨学金を支給する制度です。本学における海外の大学との留学生交流の一層の拡充を図り、相互の研究・教育水準の向上に資するとともに、各国との相互理解と友好親善に寄与することを目的としています。奨学金として月額60,000～100,000円 (年間10名以内、金額は留学先地域による) 又は一時金100,000円 (年間10名以内) が支給されます。

### ○海外留学支援制度 (大学院学位取得型)

日本学生支援機構の給付型奨学金で、海外の大学院で「修士」または「博士」の学位取得を目指す学生を支援する制度です。支援期間中は奨学金月額154,000円～356,000円 (地域により異なる) と、渡航支援金160,000円が支給されます。

申請資格として、留学期間終了後、①大学や研究機関等において、日本の国際競争力の強化や国際社会への知的貢献に資する教育研究を行う意思のある者、または、②国際機関等の中核的な職員として国際貢献に資する活動を行う意思のある者、または、③その他の機関で①②に類する活動を行う意思のある者、および留学先での日本のPRの実施や、帰国した際に留学報告会並びに留学経験を踏まえた社会貢献活動への参加を将来にわたって行う者が対象となります。

年度ごとに募集要項が出ますので、詳細は国際課留学生係へ問い合わせてください。例年の募集時期は9月～10月です。

### ○日本学生支援機構 第二種奨学金 (海外・短期留学)

日本学生支援機構の奨学金で、学位取得を目的として海外の大学・大学院へ留学する学生への「第二種奨学金 (海外)」と、国内大学等在学中に海外の大学・大学院へ短期留学する学生への「第二種奨学金 (短期留学)」があります。いずれも貸与型の奨学金です。貸与月額、貸与期間、申込み資格等の

詳細は学生生活課学生支援係へ問い合わせてください。

### ○経団連グローバル人材育成スカラーシップ

将来、グローバルなビジネス領域で活躍を目指すとともに、日本の経済社会の発展にも貢献する意欲もしくはビジョンを持った学生を対象として、奨学生が募集されます。全国で20名に、一人200万円の奨学金が支給され、奈良女子大学は募集対象校になっています。

(<https://idc.disc.co.jp/keidanren/scholarship>)

### ○外国政府等奨学金

外国の政府あるいは政府関係団体が、その国の大学や大学院へ留学する日本人に対して奨学金を支給する制度です。日本学生支援機構が募集・選考に協力している場合と、外国政府・関係機関が直接募集する場合とがあります。国際課では、日本学生支援機構から募集の案内があれば、その都度国際課前の掲示板に掲示します。また、日本学生支援機構が運営する海外留学支援サイトにも掲載されています。詳細は、国際課留学生係へ問い合わせてください。

### ○その他（地方自治体や民間団体による奨学金）

地方自治体（国際交流団体を含む）、民間企業や民間団体による奨学金については、募集の案内が届いた時点で、随時、国際課前の掲示板に掲示します。詳細は、国際課留学生係へ問い合わせてください。

## 3. 海外留学における語学能力

海外の大学へ留学するには、留学先大学の授業を理解するためや、また生活上でも困らないように語学力をつけておく必要があります。留学の目的や留学先の大学・大学院により入学に必要な試験やレベルが異なりますので、留学を希望する大学のホームページ等で確認することをお勧めします。

下表では、主な留学先の言語能力試験を紹介します。特に交換留学プログラムに応募する場合、留学開始の1年前の応募時点でスコアを提出する必要があるため、早めに受験することが望ましいです。

言語	試験名	交換留学や正規コース留学の場合の目安（学部レベル）
英語	a) TOEFL <sup>※1</sup>	iBT 80～90
	b) IELTS <sup>※2</sup>	6.0～6.5
中国語	HSK（漢語水平考試）	4～5級
韓国語	韓国語能力試験（TOPIK）	4～5級
フランス語	a) DELF・DALF （フランス国民教育省・フランス語資格試験）	DELF B2
	b) TCF	400点以上 （B2以上）
ドイツ語	TestDaF	TDN3～4

※1 TOEFL（Test of English as a Foreign Language）は主に英語圏の大学・大学院が入学要件として課しているテストです。大学が実施する交換留学プログラムの他、英語圏への長期留学を目指す場合は原則として必要となります。

※2 IELTS（International English Language Testing System）は、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドではTOEFLテストよりも重視されていますので、これらの地域へ留学を希望する場合は早めに受験しておくことをお勧めします。

## 4. 海外留学情報の収集

留学にあたっては、各自で留学先（国の事情や大学、渡航手続き等）について様々な情報を調べる必要があります。留学全般に関する情報は、日本学生支援機構（JASSO）がホームページで提供しています。

海外留学支援サイト

<https://ryugaku.jasso.go.jp>

また、諸外国の政府もしくは公的機関が近畿圏で開催する「留学フェア」へ出向き、情報収集することも効果的な方法です。学内では交流協定大学との交換留学を中心に、海外留学説明会を行っています。（毎年5月ごろ）その他、学内に掲示されるポスター、チラシも参考にしてください。

世界各国の治安情勢やトラブル防止、留意点、安全情報等について、以下に情報提供機関を掲載しますので活用してください。留学中の病気やケガに備え、それらの医療費を十分カバーできる海外旅行傷害保険等に事前に必ず加入しましょう。

<外務省>

海外安全ホームページ：<https://www.anzen.mofa.go.jp>

世界の医療事情：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>

<厚生労働省>

海外で健康に過ごすために（国・地域別情報、お役立ち情報）：<https://www.forth.go.jp/index.html>

検疫所所在地一覧：<https://www.mhlw.go.jp/general/sosiki/sisetu/ken-eki.html>

## 2 外国人留学生

### 1. 奨学金情報

外国人留学生を対象とする各種奨学金の募集については、募集の都度、国際課前の掲示板に掲示します。詳細については、国際課留学生係へお問い合わせください。

### 2. 各種行事

外国人留学生を対象に学内外で開催される催しに関するお知らせは、その都度、国際課前の掲示板に掲示します。なお、例年実施している学内行事には以下のようなものがあります。

#### ○外国人留学生による日本語スピーチ大会

本学に在籍する外国人留学生が日本語で意見を発表することにより、日本語学習意欲を高めるとともに、国際理解と参加者との交流を深めることを目的として、毎年1回、10名程度の発表者を募って実施しています。

ぜひ積極的に出場いただき、日ごろの学習の成果を発揮してください。

日本人学生のみなさんも、ぜひ留学生のみなさんのスピーチを聞きにきてください。

#### ○留学生懇親会

外国人留学生のみなさんと本学の教職員・チューター、更には留学生に対して様々な支援をいただいている外部の支援団体の方との親睦を深めることを目的に、毎年1回、外国人留学生による日本語スピーチ大会の日に開催しています。

#### ○帰国留学生送別会

帰国する日本語・日本文化研修留学生や交換留学生を対象に、本学の教職員・チューター等と留学

生、留学生相互のネットワークを強化し、帰国後も本学を中心に、学術・留学交流が活発に行われることを目的に実施しています。



### 3 国際戦略センター

国際戦略センターは、留学生や海外の大学への留学を考えている学生をいろいろな面で支援する組織です。主な活動を以下に紹介します。

#### 1. 相談窓口

センターの教員が、月曜日から金曜日まで、原則として朝10時から5時までの間相談に応じます。留学生や海外留学を希望する学生の皆さん、困っていることや判断に迷うことなどありましたら一人で悩まないで相談に来てください。秘密は守ります。

なお、留学相談は完全予約制です。「”ならじょ”から留学!!」サイト内にある留学相談フォーム ([https://www2.nara-wu.ac.jp/icc/index\\_form.html](https://www2.nara-wu.ac.jp/icc/index_form.html)) またはメール ([icc@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:icc@cc.nara-wu.ac.jp)) にて相談希望日時と相談内容をお知らせください。

#### 2. 留学支援

##### 1) 短期海外研修

夏休みには、中国（4週間）、フィリピン（3週間）、春休みにはニュージーランド（4週間）、タイ（2週間）等の研修を実施しています。それぞれの詳細については、留学制度のページ（P.87）でご確認ください。

##### 2) 留学説明会

国際戦略センターでは、5月末の海外留学説明会（国際課共催）をはじめ、留学や海外ボランティア、インターンシップなど様々な留学説明会を開催しています。詳細は、「”ならじょ”から留学!!」や掲示板からご確認ください。

##### 3) TOEFL 説明会、TOEFL-ITP テストの実施

TOEFL の説明会を実施します。この機会を利用して、TOEFL の計画的な勉強について情報を収集してください。また、年に2回 TOEFL-ITP テストを実施します。

##### 4) TOEFL 対策講座

留学、大学院入試などに必要な TOEFL の能力を向上させるための集中講座を9月上旬に実施します。この講座は「キャリア教育科目」として開講されていて、履修すれば単位として認められます。（卒業要件外）

4月の履修登録、あるいは6月の学内募集にて参加を申しこむことができます。



#### 5) 英語による日本事情科目

留学生が、英語で日本の文化・社会・文学について学ぶ授業として、「Modern Japanese Literature A/B」などを含む8科目を開講しています。これらの講座は「教養教育科目」として開講されていて、履修すれば単位として認められます（卒業要件内）。



#### 6) 留学希望者を対象とした英語による授業

留学希望者を対象に Global Studies and Communication A/B（前／後期）を開講します。授業外課題としてオンライン英会話の受講が可能です。

### 3. 国際学術交流奨励事業（学生の国際学会等での発表）

大学院人間文化総合科学研究科に在学する学生の国際的な研究活動を支援する事業の一環として、海外で開催される国際学会等で発表する大学院生に対し、渡航費を支給する事業です。年3回の募集を行います。

### 4. 図書等の閲覧・貸出

留学生や留学を希望する学生、そして国際交流やボランティア活動に関心のある学生のために、図書やDVDなどを収集し、閲覧と貸し出しサービスを行っています。漫画、日本語教材、TOEFL学習教材などセンターならではの資料を収集しています。これらの図書類は、奈良女子大学図書館蔵書オンライン検索システム（OPAC）から検索できます。

### 5. 日本文化を学ぶ

留学生が日本文化に親しむ機会を持てるよう、華道や茶道の体験や実地見学旅行を実施しています。



### 6. WEBサイトでの情報提供

国際戦略センターが実施する事業について、それらの内容、募集、実施結果などを各WEBサイトに掲載し広報しています。ご覧ください。

国際戦略センターHP (<https://isc.nara-ni.ac.jp>)



“ならじょ”から留学!! (<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/international/index.html>)



### 7. 「国際戦略センター News Letter」の刊行

年4回刊行し、奈良女子大学の国際交流の状況を紹介しています。

Newsletter (<https://www.nara-wu.ac.jp/iec/center/ja/newsletter/index.html>)



#### 4 国際交流空間 CotoQue(ことーく)

国際交流や異文化理解を目的としたイベントを定期的実施する場として、大学会館2階に「奈良女子大学国際空間 CotoQue (ことーく)」があります。言語関係のイベントや、文化紹介、映画上映、留学報告など様々なイベントを実施する国際交流の場です。キーワードは「グローバル」「多言語」「異文化理解」そして何よりも「楽しく!」。国際交流に興味のある方は、ぜひイベントに参加してください。



## ● 海外渡航の際の届出について

災害発生時に、海外では情報の収集が困難になることが懸念されます。迅速な安全確認を行うために、学生の皆さんが旅行や留学等で海外へ出かける場合（本学が行う海外研修等を除く）は、必ず「海外渡航届出書（オンラインフォーム）」により**出発の10日前までに国際課に届出をしてください。**なお、留学生については海外渡航届出書ではなく「一時帰国・海外（国内）旅行届」を届け出てください。

### ○海外渡航届出書

以下、URLから入力、送信してください。

【URL】

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=qAYwPm-xwU0q501Yn1DgNyhi2ac0Y1BEmtHk6ISFeGhUMEtZSszJPTVgxTDczMEEONURCSzAxUjU5SC4u>

※後日、日程等が変更になった場合には、変更内容について速やかに国際課へメールでご連絡ください。件名を「海外渡航届出書」とし、学籍番号と名前をメールに記載してください。

※問合せ先：国際課留学生係

TEL：0742-20-3240 E-mail：[ryugakusei@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:ryugakusei@cc.nara-wu.ac.jp)

### ○一時帰国・海外（国内）旅行届 ←留学生のみこちら

一時帰国・旅行等で不在となる場合は、必ず「一時帰国・海外（国内）旅行届」を**出発の10日前までに国際課留学生係にメールにて提出するとともに、指導教員にもそのことを伝えてください。**

また、1年以上日本を離れる場合は、出入国在留管理局で「再入国許可」を受ける必要がありますので、注意してください。

【様式ダウンロードURL】

[https://www.nara-wu.ac.jp/iec/int/ja/pdf/2023/20230906temporary\\_leave.docx](https://www.nara-wu.ac.jp/iec/int/ja/pdf/2023/20230906temporary_leave.docx)

【提出先メールアドレス】

国際課：[ryugakusei@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:ryugakusei@cc.nara-wu.ac.jp)

### ○注意事項

①外務省海外安全ホームページで渡航先地域の情報確認を行い、危険レベルに応じて渡航の判断を行ってください。

【外務省 海外安全ホームページ】<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

②日本人学生が海外渡航する際は、必ず、たびレジ（3ヶ月未満の渡航）、もしくは在留届（3ヶ月以上の渡航）に登録してください。いざという時、在外公館などから情報提供を受けることができます。

【外務省 たびレジ/オンライン在留届登録】<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html>

※渡航先での滞在地、滞在期間、連絡先等に変更があった場合は、変更内容により、在留届、たびレジの登録内容の変更も行ってください。

③休学をして留学する場合も、渡航情報について国際課まで届出をしてください。

海外では特に「自分の身は自分で守る」という意識をもつことが大切です。

そのためには、事前に現地の情報を入手し、どこに危険が潜んでいるかをしっかりと理解し、常にリスク回避を心がけることが大切です。また、万が一、事件・事故に遭ったときの被害を最小限に抑えるため、あらかじめ緊急時に備えた準備しておくことも必要です。

情報収集の際には、下記のサイトも参考にしてください。

【外務省の海外旅行者向けサイト】<https://www.anzen.mofa.go.jp/trip/>